

めじろ台未来づくりPJ
(4~5回のまとめ)

資産価値の維持

情報発信

めじろ台スタイルの発信

情報収集を含め インスタ
めじろ台の良さのアピール
(内向け・外向けの発信)

住環境保全・改善

きれいな街の維持方策

景観ルール?

情報交換

場づくり

無理のないコミュニケーション

気軽にできる活動・場所
ex.ブックカフェの活用

空き地を活用した公園空間

暮らしの持続性

多世代交流

交流のきっかけづくり

イベントを通じた交流
のきっかけづくり

暮らしの拠点

駅前子育てハブ拠点

駅前の保育所・クリニック

多世代居住

多様な住宅供給

若い世代向け住宅(賃貸)

一人暮らしの2階を学生に貸して2世帯ホームシェア

第6回 めじろ台未来づくりPJ 主な意見 出席者：中村(修)、本田、小林、総村、矢崎、肥塚、斎藤、下島、鈴木、藤田、深井、イ、中川

■主な意見

(肥塚) 情報発信、情報交換⇒**情報収集の仕組み**も必要。めじろ台だけでなく八王子市内・外の情報。フレイル対策など、様々な情報を整理し、めじろ台で活用するとよい。既にある仕組みを咀嚼して活用していく。

(本田) **環境**、広くとっておいてよいのかなあ。町のクリーン活動だけでなく、他所の良い環境の事例を調べる。目新しさが無い。若い人にとって環境とは？**都心ではない**ものは？庭に鳥が飛んでくる。鶯……。めじろ台に住んでいる人が楽しめる**情報を情報発信**。自然

(総村) 周辺の面白い場所。**地域資源を再発見**できないか？万葉公園でディキャンプとか。花見、**大人が楽しめる環境**。

(矢崎) 梶田中学の近くで、**ホタルが見れる環境**も。鶯など自然の環境が豊か。

(斎藤) よみっこで紹介。

(イ) 泉北NT・・・20代、30代の人たちが、NTでの生活がわからないで候補から外している人に対して情報発信。**若い生活者へのインタビュー**など。外部向けに、**生活の良さをどう発信**できるか。まちの紹介パンフ作って不動産屋においてもらうとか。一人暮らしの2階を学生に貸して**2世帯ホームシェア**。若い人と高齢者のマッチングを**ソフト的に対応**することも。京都でさかん。NPOハートウォーミングハウス(HWH)。

<https://www.npohwh.com/blank-yhn3u>

京都は自治体も支援<https://www.pref.kyoto.jp/jutaku/jisedaigesshuku kyotosolidaire.html>

(中村) めじろ台地区でも、**2世帯ホームシェアのニーズ・事例あり**。高齢化すると2階使われない。管理も大変。学生入居は一時的なのでメリットありか？

(深井) 環境という点では、自然環境だけでなく、**人や店舗、様々な活動なども含めてアピール**できるのでは。

ホームシェアについては、2009年頃、上記HWHで異世代間ホームシェアを体験。世田谷で学生が4軒ほど体験入居。基本的には高齢者宅の空き室で収入を得ながら、(間接的な)見守り。入居者は家賃は通常賃貸と変わらないが水回りの広さが違う。**1人ではないという安心感もメリットの一つ**。留学生は高齢者から日本の文化を学ぶなど。

■主な意見

(総村) **コーポラティブハウス**はできないか？意識が高い人が入居する。理解のある不動産屋もいる。

(中川) 空き家法が改正されて空き家活用を支援する法人を市が指定することもできるので、将来的には、めじろ台まちづくり協議会も法人指定されて空き家活用・管理していくことも。

(中村) 多様な暮らし⇒ **賃貸含め、住まいの選択肢を増やす**。近所に借家が少ない。めじろ台の周辺に学生住んでいる。ある程度のルールは必要。建築・不動産関係の専門家の意見も聞く。

(斎藤) めじろ台は高い。建売でも4,000万円を超えてくる。

(下島) **住んでいる人のなかから発信**していく。そのため、そういう人を**発掘**していく。

(深井) 学生に聞くと、日常のやり取りはもうLINEではない。インスタでつながって仲良くなった人のみLINE。

(鈴木) インスタやっている。友人+αで使っている人にはどうか？ **生活に即した発信の方が地域の良さが見えてくる**。オフィシャルな広告だけでは…。2世帯ホームシェア、学生出て行ってしまふのはもったいない。心のよりどころにしてもらうなど、**接点を持ち続ける**。←どう工夫するか？

(深井) (大学近辺の)多摩ニュータウンなどはチェーン店しかなくて面白みがないが、めじろ台は**特徴のあるお店もあって、地域への愛着も湧く要素がある**のでは。

(藤田) めじろ台を知らない人にとって、**生活が見えることが大事**。説得力がある。インスタ使っている。行ってみようと思えるような食べ物、環境。。ホームシェア、**学生のネックの一番は家賃と食事**。週一買い出しの代わりに食事提供。一人暮らしはバランスある食事がとれない。

(中村) どういう生活なのかを見せることから。

(矢崎) 学生時代、賄い付きの住宅に住んでいる学生もたくさんいた。

(中村) 次回は、**6/23金曜日、19時**から、ハイブリッドで開催。**多世代交流、暮らしの拠点**を主なテーマとして議論。